

地方創生における本県の状況等

1 本県の地方創生の考え方

- ① 地方創生に取り組むに当たっては、本県の実情に沿った実効性を伴う施策の展開を図ることが重要であると考えており、本県の成長・発展につながる具体的なプロジェクトの掘り起こしが何よりも重要である。
- ② 県民一人ひとりが生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、従来の少子化対策や産業振興対策など、地域経済の活性化のための諸施策の充実を図るとともに、本県の基幹産業である農業をはじめとする第一次産業や観光産業などの重点的な振興を図る。
- ③ 本県の資源や地理的優位性など強みを生かしながら、具体的なプロジェクトの積極的な推進に努める必要がある。

2 本県の取組状況

① 地方創生プロジェクトチームの設置

(目的)

人口急減・超高齢化の課題は、国と地方が連携・協力して対応する必要があり、鹿児島県においても、地方創生の実現に向けた取組を実施するにあたり、各施策の予算化をはじめ、地方版総合戦略等を策定するための組織の設置等を検討する。

- ・ 地方創生に係る予算編成作業等を円滑に行うため、副知事を座長に、関係部局の実務的なメンバーによる「地方創生プロジェクトチーム」を1月に設置。

② 地方創生推進本部の設置

(目的)

人口急減・超高齢化の課題は、国と地方が連携・協力して対応する必要があり、鹿児島県においても、地方創生の実現に向けた取組を実施するにあたり、本県の成長・発展につながる具体的なプロジェクトの掘り起こしとともに、鹿児島県版の総合戦略を策定する。

- ・ 1月に立ち上げたプロジェクトチームを全庁的な体制に拡充するとともに、農業や観光部門について体制を強化し、4月に「地方創生推進本部」を設置。

- ・「地方創生推進本部」は、副知事を本部長として本庁の実務的なメンバーにより構成。

③ 地方創生有識者懇話会の設置

- ・本県の地方創生への取組などについて、地域の産業や経済等に知見を有する専門家などの外部有識者から助言を得るため、8月に「地方創生有識者懇話会」を鹿児島地区及び東京地区に設置。
- ・鹿児島地区は委員26人、東京地区は委員7人で構成。

④ 総合戦略の策定

平成27年度中に鹿児島県版総合戦略を策定し、市町村とも連携を図りながら、本県の将来を見据えた実効性の伴う施策に取り組むこととしている。

⑤ 市町村との連携

- ・地方版総合戦略の策定など地方創生に係る市町村の主体的な取組を支援するため、本年4月に3名の専任職員を配置し、市町村における総合戦略の策定等について、市町村からの相談に対応するとともに、各地域振興局・支庁ごとに、管内市町村との意見交換会を開催し、必要な助言等を行っている。
- ・国の人材支援制度として、国家公務員や大学研究者等を、人口5万人以下の市町村に派遣（長島町と南さつま市の2団体）

3 県予算における取組

地方創生の実現に向けた取り組みについては、地方の責任の下で、自主性・主体性が発揮できる真に実効性を伴った施策が展開されることが望ましいと考えており、本県においても地方創生に係る取組を行うべく予算編成を行ったところである。

【平成26年度補正予算及び平成27年度当初予算（地方創生関連）】

	事業数	予算額
26年度3月補正予算	64事業	4,129百万円
地域消費喚起・生活支援型	4事業	2,188百万円
地方創生先行型	60事業	1,941百万円
27年度当初予算	203事業	21,366百万円
計	267事業	25,495百万円

鹿児島県の地方創生 ～主なトピックス～

- ◆ 鹿児島県は、「かごしまニューライフプラン」に沿った施策のほか、本県の強みを活かした諸プロジェクトを推進してきました。
- ◆ 平成27年度はこれらの諸プロジェクトが一気に開花することから、これらを中心に地方創生の取組をさらに加速化させます。

農業

大隅加工技術研究センター H27.4月オープン

- 高付加価値型農業への展開による地域経済の活性化のために整備した大隅加工技術研究センターを平成27年4月にオープンします。
- 新たな加工・流通技術の研究・開発、加工事業者等による加工品の試作品づくりや販路拡大を支援します。

○ 大隅加工技術研究センター関係事業(215百万円)【一部②③補】

環黄海经济圈

鹿児島-上海線 週4便へ増便

- 成長する中国経済の波及効果をもたらし、本県の発展可能性を高めるため極めて重要な鹿児島-上海線が週2便から週4便へ増便されます。
- それにより増加が見込まれる中国人観光客への誘客支援・受入体制整備に取り組みます。

○ 鹿児島空港国際化促進事業(209百万円)
○ 中国誘客特別事業(11百万円)【②③補】
○ YÔKOSO!KAGOSHIMA(海外誘客強化)事業(75百万円)【②③補】

清華大学とのMOUに基づいた交流

- 鹿児島県は、中国・清華大学との包括協定(MOU)を締結しています。
- これに基づき、清華大学との経済、青少年、芸術などの交流に取り組みます。

○^新清華大学との交流促進事業(50百万円)

※本事業を中心とした取組は、「鹿児島発『地方公共団体と国外大学との包括協定による連携』を核とした外需獲得型の地域活性化モデル」として、内閣府の地域活性化モデルケースにも選定されています。

教育・地域活性化

楠集中高一貫教育校 H27.4月開校

- 楠集中高一貫教育校が平成27年4月に開校します。
- 「シリーズ宇宙学」や「トップリーダー教室」など、楠集独自の教育活動を実践し、次世代のリーダーを育てます。

○^新楠集中高一貫教育校振興事業(131百万円)【一部②③補】
○ 楠集中高一貫教育校施設整備事業(1,241百万円)

地方創生関連事業の全体像

平成26年度3月補正予算

地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して、消費喚起・地方創生に積極的に取り組

地域消費喚起・生活支援型【4事業 2,188百万円】

21世紀の鹿児島県の基盤づくりに最も重要である観光・物産、農林水産業を重点的に支援。

○**新**かごしま国民文化祭開催記念—プレミアムお得旅促進事業(948百万円)

○**新**直行便利用海外誘客特別キャンペーン事業(200百万円)

○**新**『本物。鹿児島県の逸品』PR・販売促進事業等(1,040百万円)

地方創生先行型【60事業 1,941百万円】

地方創生関連事業の一部を前倒しし、先行的に実施。

1 鹿児島県にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- 新** サービス・イノベーション推進事業(76)
- 新** 大隅加工技術研究センター試験研究事業(13)
- 新** 地域活性化起業家支援事業(96)
- YOKOSO!KAGOSHIMA(海外誘客強化)事業(75)
- 新** 若年者UIターン促進事業(10)
- 新** 鶴丸城楼門建設事業(600)

2 地方への新しいひとの流れをつくる

- 新** かごしま「よかところ」移住・交流促進事業(19)
- 新** 過疎地域等集落対策総合支援事業(2)
- 新** 楠隼中高一貫教育校振興事業(創造的知性を深めるリーダー育成事業等)(43)

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 新** 産後ケア推進事業(3)
- 離島地域不妊治療支援事業(5)
- 新** 男性の子育て参加促進事業(6)
- 多子世帯保育料等軽減事業(149)

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 新** 多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業(85)
- 新** 地域力創造支援強化事業(4)

平成27年度当初予算【203事業 21,366百万円】

平成27年度当初予算においても、「まち・ひと・しごと創生事業費」等を活用しながら、平成26年度3月補正に計上した交付金事業と一体となって「地方創生」に積極的に取り組む。

1 鹿児島県にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- 新** かごしまグリーンファンド(仮称)導入促進事業(250)
- 新** 清華大学との交流促進事業(50)
- 食品関連産業振興プロジェクト事業(423)

2 地方への新しいひとの流れをつくる

- 奄美群島交流需要喚起対策特別事業(277)
- 企業立地促進補助事業(869)

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 地域少子化対策強化事業(64)
- 新** 産科医療体制確保支援事業(26)
- 新** 在宅重度心身障害児の家族支援事業(5)

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 共生・協働の地域コミュニティづくり推進事業(2)
- 高齢者元気度アップ地域活性化事業(150)

地方創生関連事業 計 25,495百万円

地方創生に係る主な施策

1 鹿児島にしごとをつくり、安心して働けるようにする

○新サービス・イノベーション推進事業 76百万円 (H26.3月補正)

宿泊業や飲食業など県内雇用の大きな受け皿となっているサービス産業についてより質の高いサービスの提供や効率性の向上など付加価値の向上につながる取組を支援することにより雇用の安定と地域経済の活性化を図ります。

○新地域活性化起業家支援事業 96百万円 (H26.3月補正)

県内過疎地域等において新たなビジネスや雇用を創出し、地域の活性化を促進するため、当該地域で起業を目指す人などを対象に、起業初期段階における負担軽減等の支援を行います。

○新大隅加工技術研究センター試験研究事業 13百万円 (H26.3月補正)

大隅加工技術研究センターにおいて、県農産物の付加価値を高める加工・流通技術の研究・開発に取り組めます。

○新かごしまの食ブランディング事業 12百万円 (H26.3月補正)

県産農産物等の認知度向上と販路拡大を図るため、「かごしまの食ウェブサイト」と連動し、大消費地の高級量販店や飲食店等におけるプロモーション活動等を展開します。

○新若年者UIターン促進事業 10百万円 (H26.3月補正)

県外へ進学した大学生等のUIターンを促進するため、県内外において企業説明会を開催します。

○ YOKOSO!KAGOSHIMA(海外誘客強化)事業 75百万円 (H26.3月補正)

2 地方への新しいひとの流れをつくる

○新かごしま「よかところ」移住・交流促進事業 19百万円 (H26.3月補正)

本県への移住を促進するため、首都圏における移住・交流相談員の設置、移住・交流セミナー等を実施します。

○新過疎地域等集落対策総合支援事業 2百万円 (H26.3月補正)

首都圏等における地域おこし協力隊の募集を実施するとともに、集落対策等に係る地域会議を開催し、過疎地域における課題解決の事例研究等を行います。

○新新たな奨学制度導入検討事業 10百万円

新たな奨学制度について、平成27年度中の導入を目指して検討を進めます。

○新楠集中高一貫教育校振興事業 131百万円 (一部H26.3月補正)

平成27年4月に開校する楠集中高一貫教育校において、「シリーズ宇宙学」や「トップリーダー教室」など、楠集独自の教育活動を実践するとともに、必要な備品の整備や生徒募集のための周知・広報活動を行います。

○ 企業立地促進補助事業 869百万円

地方創生に係る主な施策

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○新産科医療体制確保支援事業 26百万円

産科医療体制の確保が困難な地域において、市町村が新たに産科医師等(産科医, 麻酔科医, 小児科医, 助産師)を確保するために要する給与手当, 派遣・出向等の経費を助成します。

○新産後ケア推進事業 3百万円 (H26. 3月補正)

離島など産科医療資源の少ない地域の妊産婦の産後ケアを支援するため、宿泊型産前産後ケアセンターの利用者へ費用の助成を行う市町村に対して、その費用の一部を助成します。

○新男性の子育て参加促進事業 6百万円 (H26. 3月補正)

父子手帳を作成配布し、男性(父親)の積極的な育児参加を促進することにより、母親の過度な育児負担の解消を図ります。

○ 地域少子化対策強化事業 64百万円 (一部新規)

○ 多子世帯保育料等軽減事業 149百万円 (H26. 3月補正)

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する

○新地域貢献活動サポート事業 20百万円

鹿児島県共生・協働の地域社会づくり基金への寄附を活用して、NPO法人、地域コミュニティ組織等の多様な主体が地域課題の解決に取り組むために必要な経費の一部を助成します。

○新地域力創造支援強化事業 4百万円 (H26. 3月補正)

過疎地域等のより広範囲にわたる課題等について、高度な知識・経験を備えた専門家等を中心に、県、市町村、NPO、自治会などが協力して解決策を導き出し、地方創生の地域モデル構築を目指します。

○新多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業 85百万円 (H26. 3月補正)

年齢や障害の有無にかかわらず、地域において必要な支援を受けられ、交流や支え合いの場となる小規模な多世代交流・多機能型の福祉拠点施設の整備・運営を支援することにより、心豊かな地域コミュニティの形成を図ります。

○ 高齢者元気度アップ地域活性化事業 150百万円

○ 特定離島ふるさとおこし推進事業 900百万円

○ 半島特定地域「元気おこし」事業 97百万円

○ 地域振興推進事業 970百万円